

関西 EAC 第507回例会 : オープン例会のご案内

■ テーマ オープン例会: 会員以外の方も参加できるオープン形式で開催します。【事前登録制・参加無料】

■ 日時 2023年2月17日(金) 13:30~17:00

■ 場所

梅田スカイビル タワーウエスト36階 スペース36R

■ ZoomのミーティングIDとパスワード

例会前日に事務局より参加者にメールにてZoomミーティングURLとIDとパスワードを送ります

■ 交通手段

〒531-6039 大阪市北区大淀中1-1-88

[梅田スカイビルアクセス](#)

JR大阪駅より徒歩約15分

■ 備考

■ お問い合わせは 関西設計管理研究会 事務局長 河添 俊幸 宛 [コンタクトフォーム](#)から問い合わせください。
スケジュール

13:30~13:40	・会長ご挨拶
13:40~14:30	<p>AI(人工知能)はベテランが使ってこそ威力を発揮する ～ 続・日経ものづくり記事制作過程と発行後に考えた事 ～</p> <p>株式会社日経BP 日経クロステック/日経ものづくり 木崎 健太郎 氏 「日経ものづくり」において2022年に掲載した特集記事などの作成過程と発行後に考えた事についてお話しします。2022年は特に、AIをはじめとする先進的なITに対して、ベテランがどう向き合うとよいのかについて考える機会がありました。</p>
14:30~14:40	換気・休憩
14:40~15:20	<p>【研究発表1】2022年度優秀賞受賞 『失敗事例を踏まえた新たなコンカレント開発を支えるしくみの構築』</p> <p>ダイキン工業株式会社 空調生産本部 開発企画Gr 築山由美 氏 ダイキン工業では急速なグローバル展開における分散設計拠点体制での製品開発を加速するため、CAD、BOMのデータベースを一元化したグローバル設計情報システムを構築してきた。 その中で3次元モデル、BOMを中心とした開発初期段階からのコンカレント開発のしくみ構築にとりこんできたが十分な成果は得られていない。 現在、CAD、BOMのしくみを刷新するのとあわせて、3次元モデル、BOMを中心としたコンカレント開発を実現するための基盤である3次元図面の展開(図面レス)とCAD構成とE-BOM構成をあわせる(CADBOM=EBOM)に挑戦しているため、そのとりくみ概要を紹介する。 ※質疑応答時間を含みます。</p>
15:20~15:30	換気・休憩
15:30~16:30	<p>【研究発表2】2022年度優秀賞受賞 続 なぜ、「イノベーション」はいつも掛け声で終わるのか?</p> <p>誰も彼もが、イノベーションが必要だといいますが、イノベーションという言葉の浸透度とは裏腹に、何をどうしたらいいのか分からないという方が多いのではないのでしょうか。今一度、現場目線から一緒に考えていきたいと思います。(2022年6月例会の続編としてさらに詳しくお話いただきます。) 竹林 一 氏 京都大学経営管理大学院 客員教授 オムロン株式会社 イノベーション推進本部 シニアアドバイザー “機械に出来ることは機械にまかせ、人間はより創造的な分野での活動を楽しむべきである”との理念に感動して立石電機(現オムロン)に入社。以後新規事業開発、オムロンソフトウェア代表取締役社長、ドコモ・ヘルスケア代表取締役社長、イノベーション推進本部インキュベーションセンター長等を経て現職。また京都大学経営管理大学院客員教授として「100年続くベンチャーが生まれ育つ都」に向けた研究・実践を推進する。著書に「たった一人からはじめるイノベーション入門」、「モバイルマーケティング進化論」等がある。 【最近の著書】 たった1人からはじめるイノベーション入門 何をどうすればいいのか、どうすれば動き出すのか - 2021/12/24</p>
16:30~16:45	2023年度例会開催計画のご案内
16:45~17:00	会場撤収